

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>		中古住宅流通・リフォーム市場活性化事業		<b>担当部局庁</b>	住宅局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		H25～H27		<b>担当課室</b>	住宅生産課木造住宅振興室 住宅生産課住宅瑕疵担保対策室		室長 加古 貴一郎 室長 山田 哲也			
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	2 住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		<b>関係する計画、通知等</b>	住宅市場整備推進等事業費補助金交付要綱 中古住宅・リフォームトータルプラン					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		日本再生戦略に掲げられた2020年までに中古住宅流通市場・リフォーム市場の20兆円までの規模倍増を実現するため、「中古住宅・リフォームトータルプラン」に基づき中古住宅流通・リフォーム市場の環境整備や、中古住宅流通・リフォームの担い手の強化を行う民間の取組を支援することで、中古住宅流通・リフォーム市場を活性化する。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		<p>中古住宅流通・リフォーム市場において消費者にとって安心で魅力的なサービスの提供を促進するため、中古住宅・流通リフォームトータルプランの実現に資する民間の能力を活かした先進的・モデル的な取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中古住宅流通・リフォーム市場の環境整備 消費者が中古住宅やリフォームを安心して選択可能とするため、民間事業者が中古住宅やリフォームに関する情報提供を行う取組を支援する。</li> <li>・中古住宅流通・リフォームの担い手の育成・強化 中古住宅流通やリフォームに関し、安心して消費者ニーズにあった魅力的なサービス提供の取組を促進するため、民間事業者が連携した取組等を支援する。</li> </ul>								
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		予算の状況	当初予算	-	-	-	-	1,400		
			補正予算	-	-	-	-			
			繰越し等	-	-	-	-			
		計		-	-	-	-			
		執行額		-	-	-	-			
執行率(%)		-	-	-	-					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
		リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合		成果実績	%	3.5(H16～20平均) ※H20年度	-	-	-	6
				達成度	%	58	-	-		
		既存住宅の流通シェア		成果実績	%	14 ※H20年度	-	-	-	25
達成度	%			56	-	-				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		実施事業者数		活動実績 (当初見込み)			( )	( )	( )	50～60
<b>単位当たりコスト</b>		25百万円(予算要求額/実施予定事業者数)		算出根拠	単位当たりコスト=実績額(1,400百万円)÷実施事業者数(55者)					
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	(項)住宅市場整備推進費				日本再生戦略に関する「重点要求」(国土・地域活力分野) 1,400					
	(事項)住宅市場の環境整備の推進に必要な経費									
	(目)住宅市場整備推進等事業費補助金		—	1,400						
	計		—	1,400						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	日本再生戦略に記載された2020年までの中古住宅流通・リフォーム市場の規模倍増の実現を図るため、市場の活性化や市場の環境整備に資する取組を支援することが必要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本事業については、平成25年度新規要求事業であるが、他事業における行政事業レビューの結果を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの民間事業者等の提案を本事業で活かせるよう、事業の目的に沿った企画内容を提案する公募を行う</li> <li>補助事業の成果を開示し、更なる市場の活性化や市場の環境整備に繋げる等に留意した上で補助金の執行を行う。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>持続可能で活力ある国土・地域の形成とこれを通じたデフレ脱却と経済活性化の観点から、優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—